



キャッチフレーズ

はぐく つながりが育む、安心と健康のまち豊岡

第5期計画で力を入れたいこと

1 人とのつながりを大切にできるまちにしよう

具体的な活動

- 積極的にあいさつをして、顔の見える関係づくりをさらに広げよう。住民同士のふれあいの場を大切にしていこう。 例：お祭り、豊岡もくもく食堂、豊岡ハロウィンイベント
- 清掃やごみ出しなど日常生活での関わりや、まち歩き、地域行事などをきっかけに、まちの良いところを再発見し、交流を進めよう。
- 各自治会町内会の取組みを共有して、お互いに取り入れて活動を広げていこう。



2 多くの人々が安全・安心だと感じるまちづくりを進めよう

具体的な活動

- 学校等とも連携し、地域みなんでお互いに見守り合っていこう。 例：学童の下校時見守り活動、防犯パトロール
- 日ごろから防災・減災への意識を持ち、世代間交流を深めながら自然災害等に備えよう。 例：豊岡地区防災訓練、「無事ですカード」の活用、ペットの飼い主同志の連携による避難訓練



3 心も身体も健康になろう

具体的な活動

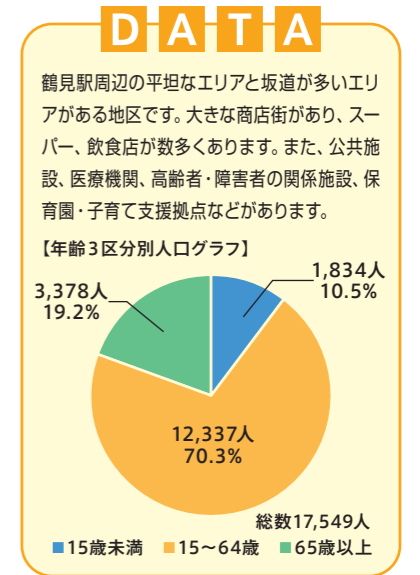
- 外に出て、人とのつながり、心も身体も健康になろう。 例：豊岡ふらっとカフェ、元気づくりステーション、地区連合運動会、体操教室
- 食を通じた健康支援に取り組める機会をつくろう。 例：口腔ケア（歯の健康づくり、感染予防）、口腔体操、豊岡もくもく食堂、めぐみの朝ごはん



豊岡地区連合運動会



出典「横浜市統計ポータルサイト」、「住民基本台帳」（令和7年9月末日現在）※集計上の誤差があり、実態と一致しない場合があります。



第5期計画はこのように取り組みました

第4期計画について、3つの目標ごとに「達成できたこと」「今後取り組みたいこと」「課題と感じていること」について、町内会ごとに意見交換を行いました。感染症の流行により、十分な活動が難しかったという声がある一方で、「制限のある状況下でも実現できた取り組みがあった」との前向きな意見も多く寄せられました。

また、世代間交流の促進やファミリー層への働きかけを通じて、地域の魅力をさらに高めていきたいという意欲が示され、第4期の目標に対する“再挑戦”への思いが共有されました。



これまでの計画（第4期）の振り返り

みんながつながるまち豊岡

目標① 笑顔であいさつして交流の輪を広げよう

学校と地域が連携するなど、世代間交流を通じてつながりを深める活動ができた

目標② 安全・安心な町づくりを進めよう

防犯活動を通じて顔の見える関係が築け、安心感が得られた

目標③ 心と身体の健康づくりを行おう

目的に合った運動ができ、心の健康も保たれ、世代の広がりにも希望が持てた